

MAKING ART DIFFERENT

aikanyama

Curation Practice
Curation Basic
Art + Communication
Artist Magazine
Special Courses
Art Audience

School of

Contemporary

ART

コース・ディレクター=小澤慶介(AIT)/ロジャー・マクドナルド(AIT) 講師(敬称略・50音順)=天野太郎(横浜美術館 主席学芸員)/飯田志保子(東京オペラシティアートギャラリー キュレーター)/五十嵐太郎(建築評論家)/池田修(BankART1929 代表)/今福龍太(東京外国語大学大学院 教授)/遠藤水城(アーカス・プロジェクト ディレクター)/塩見有子(AIT)/木奥恵三(フォトグラファー)/北川フラム(アートフロントギャラリー主宰/地中美術館 総合ディレクター/新潟市美術館 館長)/木ノ下智恵子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師/神戸アートビレッジセンター 美術プロデューサー)/郷泰典(東京都現代美術館 教育普及係 学芸員)/古平正義(アートディレクター)/小山登美夫(小山登美夫ギャラリー 代表)/杉田敦(美術批評家/女子美術大学 准教授/オルタナティブ・スペース art & river bank ディレクター)/住友文彦(AIT)/塚本由晴(建築家/アトリエ ワン)/辻憲行(フリーランス・キュレーター)/永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)/南條史生(森美術館 館長)/西川美穂子(東京都現代美術館 学芸員)/長谷川祐子(東京都現代美術館 学芸課長)/藤浩志(美術家)/宮崎香菜(BT/美術手帖 編集部)/毛利嘉孝(東京藝術大学 准教授)/森弘治(アーティスト)/柳下朋子(ART iT 編集部)/吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)



organized by

ARTS

INITIATIVE

TOKYO

MAD2008 秋期・冬期コース開講

MAD (Making Art Different =アートを変えよう、違った角度で見よう)は、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した、独自の講義と現場の議論を重視するエデュケーション・プログラムです。2008年度のMADは、国際的なアート界の複雑な構造と社会の関係、そしてそこで起こっている議論に注目します。キュレーターやギャラリスト、アーティストなど、現代アートの現場に携わっている専門家をゲストに迎え、社会学や哲学思想などを踏まえながら、今日の現代アートにより多角的に、深く、体系的に迫ります。

2008年秋期・冬期(2008年9月～2009年3月)は、「アート+コミュニケーション[後期]」、「アーティスト」、「マガジン」の3コースが開講されます。受講生は各コースの必修レクチャーのほかに、指定された数の「フリー・ブロック」を選択し、受講することができます。また、短期間で集中的に特定のテーマについて考える「集中講座」や昼間に行われる「デイトム講座: アート・オーディエンス」も開講されます。すべてのコースは代官山のAITルームで行われます。

アート+コミュニケーション[後期]

「公共と美術編」“現代アートと社会をつなぐ”

美術や美術史の基礎的な知識をふまえ、現代アートと社会のつながりについて具体的に考えるコース。文化政策や自立的なアート活動、またワークショップなどに見る教育プログラムをテーマに、日本の美術を取り巻く状況と実践を学ぶ。また、東京都現代美術館において作品ガイドを考案するワークショップも行い、アートの現場を体験する。

2008年9月開講/各4ヶ月コース/定員各20人/¥79,800(税・諸費用込)/申込締切: 9月7日

アーティスト“「アーティスト」として活動するために”

「美術界」や「アーティストの自立的な活動」などについてのレクチャーと、キュレーターや美術評論家をゲストに交えて行う模擬プレゼンテーションを通じ、作品の理論的バックアップやプレゼンテーションスキルを学ぶ。

2008年9月・2009年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥38,850(税・諸費用込)/申込締切: 秋期9月7日 冬期12月12日

マガジン“世界のアートシーンを知る”

海外のアート雑誌やウェブの英文記事を読み、ディスカッションを行うことで、世界各地で展開する現代アートの「いま」を読み解く。アート・マーケットの情報や、独特な視点で書かれているアーティスト評や展覧会評などで、日本の美術雑誌ではなかなか触れることのできないアートの一面に迫る。

2008年9月・2009年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥36,750(税・諸費用込)/申込締切: 秋期9月7日 冬期12月12日

集中講座 (NEW)

短期間に特定のテーマについて専門的な知識を習得したい方を対象としたコース。後期は、下記の2講座を開講。(フリー・ブロックは受講することができません。)

○「アジアのアート: 西洋の優位性は今後も続くのか?」 レクチャー: 住友文彦(AIT)

期間: 10月17日(金)、18日(土)/定員20人/¥14,700(税・諸費用込)/申込締切: 2008年10月7日

中国における好景気の影響で活況を呈している東アジアのアートシーンを、西洋の資本や言説との影響関係のなかで捉え、考察します。

○「写真を始めから考える」 レクチャー: 畠山直哉(写真家)

期間: 10月31日(金)、11月1日(土)/定員20人/¥14,700(税・諸費用込)/申込締切: 2008年10月21日

技術の発展や市場、そして新しい視覚言語の創造との不可分な関係性において常に変化を余儀なくされている「写真」を、写真家が考えます。

デイトム講座: アート・オーディエンス (NEW)

もっと気軽に現代アートを楽しみたいという方を対象に、2008年度に新設されたコース。レクチャーと美術展覧会で構成され、現代アートを知るきっかけが満載です。(フリー・ブロックは受講することができません。)

期間: 10月1日(水)、10月8日(水)、10月15日(水)、10月22日(水)、10月29日(水)/定員20人/¥23,100(税・展覧会入場料込)/申込締切: 2008年9月15日

*全コース受講資格特になし。ただし、定員を大幅に超える場合、選考あり。

MAD2008 無料説明会「MADオープンデー」

秋期・冬期コース概要説明後、質問を受け付けます。クラス見学会は行っておりませんので、この機会をご利用ください。

開催日時: 2008年8月29日(金)19:00～20:30/2008年11月28日(金)19:00～20:30/定員: 各回40人/参加無料

MAD2008 資料請求・お問い合わせ/「MADオープンデー」のお申し込み

件名を「MAD2008資料請求」あるいは「MADオープンデー参加希望」とし、住所、氏名、電話番号、興味のあるコース名を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。資料をご請求の方には、後日、プログラムの詳細が掲載されているリーフレットとお申し込み用紙をお送りします。2009年度の資料をご希望の方は、資料請求のメールにその旨をご記入ください。2009年1月より発送する予定です。

Arts Initiative Tokyo [AIT/エイト]とは?

AITは、キュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2001年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代美術の複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場をさまざまなプログラムをとって創り出しています。



特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266 http://www.a-i-t.net

*記載している情報は2008年7月現在のものであり、講義内容や日程は変更される場合があります。